

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	産業振興課長 馬庭 正人	電話番号	0852-22-5291
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	先端技術イノベーションプロジェクト推進事業		
目的	(1) 対象	主に県内製造企業、県内食品関連企業、県内ICT（情報技術関連）企業など	
	(2) 意図	先端技術イノベーションプロジェクト及び新産業創出プロジェクトのフォローアップを円滑に推進する。	
事業概要	先端技術イノベーションプロジェクトの9つのテーマについて、推進にあたっての課題や事業化の可能性を確認するため、外部委員からなる会議を開催。開発した技術等により市場競争力を高めるため、特許等を取得するとともに、県内企業への実施許諾を図る。産業振興施策に対する提案助言、技術移転先企業の指導・育成を行うため、産業振興アドバイザーを設置する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 連携企業における事業化件数（累計）	目標値	(4.0)	5.0	10.0	13.0	16.0	件
		取組目標値						
	式・定義 連携企業における事業化件数	実績値	(8.0)					%
		達成率	200.0	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	39,100	82,813
うち一般財源(千円)	39,100	82,813

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

（先端技術IVPJ）市場調査の結果に基づき、研究ターゲットを定め、県内企業等と連携に向けた情報交換をし、研究・開発を開始。共同研究契約等を延べ29件締結し、県内企業との連携が進んでいる。
 （新産業創出PJ）技術移転をしたテーマのうち、事業化一步手前のものがあり、製品の実証支援や販路支援などのフォローアップの取り組みを実施。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

（先端技術IVPJ）
 ・技術移転が見込めるプロジェクト件数が6件となり、具体的な事業化に向けた動きが加速している。
 ・単なる製品化、事業化だけではなく、下請型から提案型の企業への体質転換にも大きく貢献（新産業創出PJ）
 県有特許について、新規の実施許諾契約が成立した

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 （先端技術IVPJ）順調に推移しているが、より多くの事業化のため、最終製品を作る企業との連携も必要であり、川下を見据えた技術・商品開発の必要性が出てきている。
 （新産業創出PJ）技術移転は完了しているが、移転先の企業等で事業化の速度が遅い案件等がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 （先端技術IVPJ）競争の激しい分野については市場ニーズの変化などがある。
 （新産業創出PJ）技術移転先企業における技術開発以外の要素（経営方針、共同で製品化を行っている他の企業の進捗が遅い）により事業化の遅れ等が発生している。
- ③原因を解消するための「課題」
 （先端技術IVPJ）市場のニーズに敏感に対応しながら、ニッチなマーケットも視野に入れた、技術開発・事業化支援の取組が必要。
 （新産業創出PJ）事業化に必要な技術支援を継続的に実施すること。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

（先端技術IVPJ）
 ○早期事業化と市場ニーズを的確に捉えた効率的な研究開発の推進
 ○研究開発途中で生じる副次的なテーマについても積極的な事業化
 （新産業創出PJ）
 ○本事業が終了するため、今後は通常の技術支援（産業技術センター運営事業）の範囲での支援を継続する。
 ○販路などについては、しまね産業振興財団など関連団体と連携しながら支援を継続する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）